
神奈川の政策紹介

京浜臨海部ライフィノベーション 国際戦略総合特区

神奈川の新しい施策の中からさまざまなネットワークを活かして展開されている政策を紹介する。

「京浜臨海部ライフィノベーション国際戦略総合特区」は、神奈川県、横浜市、川崎市が共同申請し、2011年12月に国から指定を受けた。3自治体と研究機関、企業が連携し、京浜臨海部に集積する産業基盤等の地域資源を最大限活用して、医療・医薬品・医療機器などの分野でのイノベーションを実現し、国際競争力の向上、中小企業等への波及効果、経済成長とライフィノベーションの実現に向けた取組みを推進している。各自治体の取組みとともに、先駆的な取組みを行っている研究所・企業・研究者を紹介する。

●京浜臨海部ライフィノベーション国際戦略総合特区の 取組み 神奈川県・湯川晃浩

●インタビュー

神奈川県立がんセンター臨床研究所所長・高野康雄

がん予防・情報学部長・岡本直幸

総括部長・宮城洋平

●ライフサイエンス機関の集積を活かして展開する 多様なプロジェクト 横浜市・川名一行

●世界に羽ばたく先端技術の形成～川崎市 川崎市・小林延秀

●インタビュー

横浜市立大学大学院医学研究科臓器再生医学教授・谷口英樹

(財)木原記念横浜生命科学振興財団常務理事・小田祥二

公益財団法人実験動物中央研究所専務理事・野村龍太

味の素(株)研究開発企画部専任課長・榛葉信久